

# 放課後等デイサービスガイドライン自己評価表

## 回答率

事業所職員： 4名回答、回答率 100%  
保護者様： 20名回答、回答率 86%

## 職員の意見

### ○環境・体制整備

- ・教室内清掃表を見直し、清潔な環境を保てるように心がけている。
- ・専門的支援を実施する際には、仕切りを立てて空間を分けている。
- ・自由時間に使用する道具を支援室内の棚に移動し、必要なものをすぐに取り出せるよう工夫している。

### ○業務改善

- ・ホワイトボードに書類の更新日などを記載して情報を共有し、期日を順守している。
- ・非常時の対応については、ニュースレターで避難訓練の様子や避難場所に関する情報を発信し、保護者の方への周知不足の改善を図っている。

### ○適切な支援の提供

- ・月ごとの療育テーマに沿ってプログラムを立案し、支援内容が固定化しないよう努めている。
- ・個別課題の設定は、保護者と利用児童に課題内容を相談してから変更している。
- ・療育活動は、担当の職員が主に立案し、活動内容に関する話し合いが充分ではないため、改善が必要である。

### ○関係機関や保護者との連携

- ・送迎時、保護者に児童の様子を共有し、上手くいった手立てや支援を伝えている。
- ・相談支援専門員がモニタリングで来室した際に、児童の情報を共有している。
- ・学校、SSW、他事業所、相談支援事業所とのケース会議に参加し、児童への理解を深め、より具体的な支援方針を検討している。

### ○保護者への説明責任等

- ・保護者会を実施し、活動に参加してもらうことで、療育活動の目的を伝えている。
- ・ニュースレターや祝日開室のお便りを配布して、行事予定を随時発信している。

### ○非常時等の対応

- ・非常時のマニュアルを策定し、地震や水害等を想定した訓練を毎月実施している。
- ・業務継続計画(BCP)の訓練では震災を想定し、職員の連絡網を使用した訓練を行った。

## 保護者様のご意見

### ○環境・体制整備

- ・「生活空間は清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか」の質問に対して9割以上の方から「はい」の回答をいただいた。
- ・職員の配置数が「わからない」の回答があるため、周知の方法について検討する必要がある。

### ○適切な支援の提供

- ・「こどものことを十分に理解し、特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか」「こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画が作成されていると思いますか」の質問に対して、全てのご家庭から「はい」の回答をいただいた。「こちらからの要望はもちろん、スタッフさん目線の支援も充実していると感じます」とのご意見をいただいた。

### ○保護者への説明等

- ・「支援プログラムや支援内容の説明、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか」「放課後等デイサービス計画を示しながら、支援内容の説明がなされましたか」の質問に対して、全てのご家庭から「はい」の回答をいただいた。

### ○非常時等の対応

- ・災害時を想定した訓練が実施されていることは8割以上の方に「はい」の回答をいただいたが、「わからない」との回答もあるため、非常時の対応について周知や説明方法を再度検討していく必要がある。

### ○満足度

- ・「事業所の支援に満足していますか」の質問に対して、9割以上の方から「はい」の回答をいただき、満足度が高いことがうかがえた。

## 昨年度の振り返り

### ○今年度の取り組む具体策

- ・重要な連絡事項がある場合は提供記録やメールで保護者に連絡し、共有漏れがないようにする。
- ・職員への情報共有の漏れを防ぐため、ホワイトボードを活用する。
- ・外部の施設との交流会を長期休み期間に企画し、実施する。
- ・非常時の対応や避難訓練の様子を保護者の方に周知する。

### ○改善できた点・まだ残る課題

- ・保護者への重要な連絡事項は、メールを活用して共有を行った。
- ・事務室内のホワイトボードに月の予定や連絡事項を記入して、情報共有を行うことができた。
- ・課外活動で飲食店や図書館の施設を訪問し、公共施設のマナーを学習する機会を増やした。
- ・非常時の対応について、保護者の方への周知徹底が不足していた。

## アンケート結果からみる教室の強み・改善点

### ○教室の強み

- ・送迎時や更新面談時に保護者へ児童の発達状況を共有することで、保護者のニーズや児童の課題に沿った個別支援計画の作成ができており、保護者からも高い評価をいただいている。
- ・活動プログラムが固定化しないように工夫することができており、活動を楽しみにしている利用者が多く、ご本人から参加したいと要望をいただいている。

### ○改善点

- ・職員全員で療育活動について検討することができていなかったため、活動内容の相談や振り返りの時間を設ける。
- ・職員の配置数が「わからない」というご意見から、保護者への周知が不十分であったと考えられるため、職員の配置数をやメンバーを知っていただく工夫が必要である。
- ・非常時の対応について、周知や説明方法を再検討する。

## 中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

### ○中長期的な改善計画

- ・定期的に支援内容を振り返り、課題の改善策を次の計画に反映させる。
- ・職員の配置数を施設内に掲示して、保護者へお知らせする。
- ・非常時の対応について、保護者へ必要な情報をお伝えする。

### ○1年間で取り組む具体策

- ・2ヶ月に1回職場会議を開催し、前月の季節の行事やイベント企画を振り返る。また、日常の支援や次月の業務内容の確認を行う。
- ・職員の写真と名前を記載した掲示物を作成し、教室の玄関に掲示する。
- ・非常時の対応は、ニュースレターに掲載するとともに、送迎時の際に保護者へ口頭でも説明する。
- ・緊急時はメールや電話でお知らせすることを事前に伝え、スムーズに連携できるよう備える。